

2019年度 地域貢献研究助成費 実績報告書

2020年3月26日

報告者	学科名	造形デザイン学科	職名	准教授	氏名	山下万吉
研究課題	イオンモール岡山における館内外サイネージモニター用映像コンテンツの企画提案					
研究組織	氏名	所属・職		専門分野	役割分担	
	代表	山下万吉	造形デザイン・准教授	映像デザイン	統括・企画	
	分担者					
研究実績の概要	<p><本研究の目的></p> <p>現在、イオンモール岡山では、OHK岡山放送と共同で商業施設内放送「haremachiTV」を運営している。館内外に設置された52機のサイネージモニターを有し、館内スタジオ独自の収録番組、館内テナントのイベント中継、OHKの番組・CMなどを、年間2,000万人の来館者に向けて放送している。</p> <p>「haremachiTV」の運営に関わる株式会社OHKエンタープライズを取材する中で、サイネージモニターで上映する映像コンテンツに関して、放送を通じた地域との繋がりの醸成を視野に入れているため、岡山県内の大学から提案を受け入れ、学生が制作した映像コンテンツを放送することに前向きであることを伺った。</p> <p>そこで本研究では、イオンモール岡山における館内外サイネージモニターでの公開を前提とした映像コンテンツを企画提案することを目的とし、学生とともに映像を制作した。</p> <p><研究計画></p> <p>本研究は次の計画で進めた。</p> <p>2019年7月 /イオンモール岡山 haremachiTV についての取材</p> <p>9月 /企画内容検討→OHK エンタープライズへの企画提案</p> <p>2020年11月～/学生による映像制作</p> <p>2020年1月 /映像の確認・修正</p> <p>2020年2月 /放送用データの作成・調整およびOHK エンタープライズへの納品</p> <p>当初は haremachiTV で放送する番組コンテンツを企画・提案することを検討し、研究を始めたが、取材する中で haremachiTV 運営の体制として、現状では番組を企画してもすぐには放送出来ない可能性が高いことが分かった。</p> <p>そのため、「造形デザイン学科生が制作する映像コンテンツの公共空間での発表の場の確保」「本学広報としての地域への情報発信の場の確保」「造形デザイン学科生が制作する映像コンテンツを発表することによる、地域との繋がりを醸成」「学部・学科専門授業との連携」を優先課題とし、授業と絡めながら、下記の映像を制作した。</p>					

※ 次ページに続く

研究実績
の概要

<haremachitv ロゴアニメーション>

本研究で企画し、制作した映像はharemachitvのロゴを使用したアニメーション（モーションタイポグラフィ、アイキャッチ映像）である。

- ・サイズはフルハイビジョン
- ・映像の尺は10秒前後
- ・映像の最後は、haremachitvの正式なロゴが画面中央にレイアウトされている状態。
- ・基本的なイメージは「ウキウキ」「ワクワク」「楽しくなる」「おでかけしたくなる」「買い物したくなる」「明るい」「晴れやか」など。そこからモーションのイメージを広げること。haremachitvのロゴコンセプトから大きく外さないこと。

以上を制作上の条件とし、3～4Qで開講する授業「ビジュアルデザイン領域演習Ⅱb」「基礎ゼミナール」の課題の一環として、履修生が制作した（造形デザイン学科ビジュアルデザイン領域2年生10名、3年生4名）。制作した映像は、OHKエンタープライズ及びharemachitv担当者が確認した上で厳選し、放送で使用することを前提として制作を進めた。なお、制作した映像データはラウドネス計測し、TV放送に準ずる調整（-24.0LKFS, 誤差前後1.0以内）をした状態で納品した。

最終的に、制作した映像14本の中から4本が選ばれ、以下のような形で使用された。

- 放送期間／3月2日～4月5日
- 放送媒体／イオンモール岡山館内モニター52台、イオンモール岡山HPのharemachitv放送動画 (<https://aeonmall-okayama.com/special/lists/haremachitv>)
- 使用方法／haremachitv番組前のキャッチとして、4種類の映像をランダムに使用
- 制作者／鳥村希望, 西岡奈津, 延原春華, 藤井文乃
(デザイン学部 造形デザイン学科 ビジュアルデザイン領域)